

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 2020年9月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	19,753	△16.5	339	△55.9	470	△30.9	175	△46.6
2019年12月期第2四半期	23,649	△4.5	770	△36.5	681	△46.2	329	△82.0

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △265百万円 (-%) 2019年12月期第2四半期 △87百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	11.17	—
2019年12月期第2四半期	20.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	52,722	21,849	37.6	1,258.99
2019年12月期	55,053	22,414	36.7	1,283.92

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 19,802百万円 2019年12月期 20,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年12月期	—	4.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△15.6	100	△92.8	300	△77.5	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	17,710,000株	2019年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	1,981,260株	2019年12月期	1,991,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	15,724,454株	2019年12月期 2 Q	15,703,264株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、政府から緊急事態宣言が発出され経済活動の自粛を余儀なくされ、多大な影響を受けました。また、世界各国の経済においても当該感染症拡大の影響により大幅な減速となり、国内外ともに依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、永続的成長に向けて2025年までの全社基本ビジョンを「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」と掲げ、3つの全社経営戦略（「イノベーションの推進」「グローバルネットワークの強化と拡大」「『勝ち続ける』経営基盤の構築」）のもと、激変する経営環境に左右されない強固な経営基盤の構築を図っているところであります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は19,753百万円（前年同期比16.5%減）、営業利益339百万円（同55.9%減）、経常利益470百万円（同30.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益175百万円（同46.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

(化学品事業)

売上高は14,004百万円（前年同期比18.8%減）、セグメント利益は378百万円（同50.4%減）となりました。

世界的な新型コロナウイルス感染症の影響を受け、主力である繊維加工用薬剤をはじめ、既存事業分野において、グローバル全体で売上高が大幅に減少しました。一方、特殊樹脂モノマー上市や環境衛生関連薬剤の売上高増加があったものの、アジア通貨に対する円高の影響もあり、化学品セグメント全体では売上高が減少しました。

このような状況下、休業や各国の助成金活用を含めコスト削減を実施しましたが、売上高減少及び昨年実施した設備投資による減価償却費増加により、セグメント利益は大幅に減少しました。

(化粧品事業)

売上高は5,449百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は801百万円（同3.8%減）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいては、新型コロナウイルス感染症による市況の大幅悪化の影響を受けたものの、主力ブランド品への根強い支持を受け、売上高の減少幅を縮小しました。また、山田製薬株式会社における化粧品需要が悪化した一方で、手指消毒剤受注が大幅に伸長しました。化粧品セグメント全体では、コロナ禍の影響により売上高及びセグメント利益ともに減少しました。

(その他)

売上高は300百万円（前年同期比59.8%減）、セグメント利益は19百万円（同77.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,331百万円減少し52,722百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が888百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,918百万円及び有形固定資産が967百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,766百万円減少し30,873百万円となりました。この主な要因は、借入金が687百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1,534百万円、流動負債のその他（主に未払金）が796百万円、賞与引当金が240百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、564百万円減少し21,849百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が378百万円及びその他有価証券評価差額金が93百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計期間末に比べ795百万円増加し、6,727百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは1,346百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益515百万円、減価償却費1,337百万円、売上債権の減少額1,804百万円等の収入と、仕入債務の減少額1,478百万円等の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは811百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入116百万円の収入と、定期預金の預入による支出226百万円、有形固定資産の取得による支出820百万円等の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは389百万円となりました。これは主に、借入による収入(純額)700百万円、配当金の支払264百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年4月28日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ予測値を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細につきましては、2020年7月30日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,311	7,200
受取手形及び売掛金	9,831	7,912
商品及び製品	5,058	4,616
仕掛品	643	807
原材料及び貯蔵品	3,274	3,517
その他	1,143	1,012
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	26,258	25,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	14,434	13,962
機械装置及び運搬具 (純額)	4,774	4,369
土地	5,239	5,168
その他 (純額)	759	740
有形固定資産合計	25,208	24,241
無形固定資産		
のれん	2	—
その他	349	316
無形固定資産合計	351	316
投資その他の資産		
その他	3,235	3,103
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,234	3,102
固定資産合計	28,795	27,660
資産合計	55,053	52,722

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,996	3,461
短期借入金	10,315	10,744
未払法人税等	192	283
賞与引当金	721	481
その他	2,957	2,161
流動負債合計	19,184	17,133
固定負債		
長期借入金	9,215	9,473
退職給付に係る負債	3,155	3,169
株式報酬引当金	72	80
その他	1,012	1,015
固定負債合計	13,455	13,739
負債合計	32,639	30,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,928	2,928
利益剰余金	16,058	16,103
自己株式	△1,481	△1,473
株主資本合計	20,404	20,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	386	293
為替換算調整勘定	△223	△602
退職給付に係る調整累計額	△385	△346
その他の包括利益累計額合計	△223	△654
非支配株主持分	2,233	2,047
純資産合計	22,414	21,849
負債純資産合計	55,053	52,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	23,649	19,753
売上原価	16,024	13,303
売上総利益	7,625	6,449
販売費及び一般管理費	6,854	6,109
営業利益	770	339
営業外収益		
受取利息	25	18
受取配当金	17	14
持分法による投資利益	14	8
助成金収入	19	18
雇用調整助成金	—	91
その他	106	124
営業外収益合計	183	276
営業外費用		
支払利息	32	37
為替差損	184	9
売上割引	43	36
その他	12	61
営業外費用合計	272	145
経常利益	681	470
特別利益		
固定資産売却益	9	3
投資有価証券売却益	—	10
負ののれん発生益	23	—
退職給付制度終了益	251	—
補助金収入	33	33
特別利益合計	318	48
特別損失		
固定資産除却損	5	1
固定資産売却損	0	0
投資有価証券評価損	58	1
減損損失	15	—
特別損失合計	79	3
税金等調整前四半期純利益	920	515
法人税等	484	287
四半期純利益	436	227
非支配株主に帰属する四半期純利益	107	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	175

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	436	227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	△93
為替換算調整勘定	△484	△439
退職給付に係る調整額	18	39
その他の包括利益合計	△523	△493
四半期包括利益	△87	△265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△155	△256
非支配株主に係る四半期包括利益	68	△9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	920	515
減価償却費	929	1,337
減損損失	15	—
のれん償却額	4	2
負ののれん発生益	△23	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△248	57
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	2	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△181	△238
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	58	1
受取利息及び受取配当金	△43	△33
支払利息	32	37
為替差損益(△は益)	46	8
持分法による投資損益(△は益)	△14	△8
固定資産処分損益(△は益)	△3	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△10
補助金収入	△33	△33
売上債権の増減額(△は増加)	401	1,804
たな卸資産の増減額(△は増加)	282	△78
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,933	△1,478
未払消費税等の増減額(△は減少)	△143	167
その他	△231	△488
小計	△166	1,570
利息及び配当金の受取額	78	32
利息の支払額	△34	△38
法人税等の支払額	△767	△218
営業活動によるキャッシュ・フロー	△889	1,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△342	△226
定期預金の払戻による収入	1,857	116
有形固定資産の取得による支出	△1,404	△820
有形固定資産の売却による収入	29	72
投資有価証券の取得による支出	△6	△8
投資有価証券の売却による収入	—	21
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△75	—
補助金の受取額	33	33
その他	△44	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	47	△811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	45,677	39,935
短期借入金の返済による支出	△45,852	△39,437
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10	△9
長期借入れによる収入	2,000	1,564
長期借入金の返済による支出	△1,295	△1,362
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△818	△44
配当金の支払額	△156	△126
非支配株主への配当金の支払額	△750	△138
自己株式の売却による収入	—	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,206	389
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	△129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,146	795
現金及び現金同等物の期首残高	7,206	5,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,059	6,727

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

（会計上の見積もり）

新型コロナウイルス感染症拡大は、経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、当社グループの事業活動にも影響を及ぼしております。

このような状況は、当連結会計年度中は続き、翌連結会計年度より徐々に正常化することを仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,251	5,650	22,901	747	23,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	1	1	138	139
計	17,251	5,651	22,903	885	23,788
セグメント利益	763	832	1,596	86	1,683

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,596
「その他」の区分の利益	86
セグメント間取引消去	△7
全社費用（注）	△904
四半期連結損益計算書の営業利益	770

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化学品」セグメントにおいて、移転を決定した建物については、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額15百万円を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該資産の回収可能価額は他への転用及び売却の可能性がないことから、その価値を零としております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「化粧品」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間に株式会社レラコスメチックの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上は、当第2四半期連結累計期間においては23百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,004	5,449	19,453	300	19,753
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	7	7	86	94
計	14,004	5,456	19,460	386	19,847
セグメント利益	378	801	1,179	19	1,199

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,179
「その他」の区分の利益	19
セグメント間取引消去	29
全社費用（注）	△889
四半期連結損益計算書の営業利益	339

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。